

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 吉田 節 美
 幹事 石黒 正 則
 会報・雑誌委員長 大 口 弘 和

No. 39

ロータリーの夢を追い続けよう

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

1998～99年度 RI会長 ジェームスL・レイシー

きょうの例会
 第806回 平成11年5月25日(火)

友愛の日

先週の記録
 第805回 平成11年5月18日(火) 晴

◆ “我等の生業”

◆黙想 ～田植え～

◆出席報告

会 員	69(67)名	出 席	50名
出席率	74.63%		
前々回	4月27日(修正出席率)	100%	

◆ビジター紹介

2名

◆ゲスト紹介

(株)名古屋グランパスエイト

専務取締役 小宮 好雄氏

ニコボックス

河村 政孝君 前回欠席しました。

加藤 重雄君、山田 壽勝君 情報委員会での新入会
員懇親会ご配慮ありがとうございました。

小林 明君、小山 雅弘君、三好 親君、佐野 寛君、
竹内 眞三君、魚津 常義君 Jリーグ小宮好雄氏を
招いて。

足立 一成君、秋山 茂則君、萩原喜代子さん、林
哲央くん、池田 隆君、伊藤 健文君、伊藤田博明君、
神崎 住恵さん、加藤 大豊君、菊池 昭元君、小杉
啓彰君、久野 峯一君、黒須アイ子さん、丸山 昌宏
君、松居 敬二君、松島 孝彰君、水野 民也君、水
野 賀績君、水谷 祥督君、成田 良治君、西川 豊
長君、鷺谷 龍男君、佐久間良治君、笹野 義春君、
鈴木 正男君、鈴木 理之君、舎人 経昭君、和田
正敏君、山本 英次君、吉田 節美君、吉田 玄君
名古屋グランパスエイト頑張ってください。

石田 耕嗣君 誕生日祝い。

石黒幹事報告

1. 本日例会終了後、クラブアゼンブリーを開催致
します。担当の方は百合の間にお集まり下さい。
2. 次回例会終了後、臨時総会を開催致しますので、
全会員お残り下さい。又その後、本年度・次年度の
理事役員会を開催致しますので担当の方はお残り頂
きますようお願い致します。

◆委嘱状授与

米山奨学生(ウディン・エムディ・ザイル君)のカウ
ンセラーとして魚津常義君に委嘱状が会長より手渡さ
れました。

吉田(節)会長挨拶

本日は来年度に行うライラセミナーに就いて、大谷
ライラ実行委員長に代わって御説明させていただきます。

1999～2000年度第2760地区の第8回ライラセミナー
を千種RCがホストとして開催する事は、皆様すでに
御承知の事と思います。来年度は中山君が地区ライラ
委員長となられ、過去のセミナーを振り返り、20世紀
の新世代の反省と21世紀への希望に満ちた橋渡しのラ
イラセミナーと位置づけ、平成12年3月25日～26日に
愛知県美浜少年自然の家にて開催する事に決定して
おり、千種RCの名に於いても是非とも成功させようと
強い決意をもって居ります。

又、先般の地区協議会でも野村ガバナーノミニーか
ら各クラブに対し、次年度のライラセミナーには是非
とも参加するよう強い要請がありましたので、我々ホ
ストクラブとしてはクラブ内に於いて実行委員会を組
織して本年2月9日に第1回実行委員会を開催し、3
月15日～16日に行われました尾西RCのホストに依る
第7回ライラセミナーにも参加し勉強して参りました。
その後も数回の委員会を開催し、色々構想を練っ
て参りました。そしてお手許にお配りしてあります
実行委員会組織表が出来上がり、去る5月11日の理事
会に於いて承認されましたので、全員の総力をあ
げて成功に導くため、皆様の御協力をお願いする次
第であります。少なくとも来年度、千種RCの中で最
大のイベントになるものと思いますので、全員参加
の協力を重ねてお願い申し上げます。

◆講演

“Jリーグと
名古屋グランパスエイトの課題”

(株)名古屋グランパスエイト
専務取締役 小宮 好雄氏



プロスポーツビジネスとしてJリーグが誕生して7年。スタート直後のブームから、長引く経済不況の影響を強く受け苦闘する昨今、これからJリーグはどうなっていくのか。

Jリーグにとって1998年は天国と地獄の両局面を体験した年であった。1930年にスタートしたFIFAワールドカップ大会への出場は日本サッカー界にとって永年の夢、大きな目標となっていた。昨年6月、ついに第16回ワールドカップフランス大会にブルーのユニフォームをつけた日本代表が登場した。Jリーグ関係者はこれを契機に冷え込んでいるサッカー熱が再度高まることを期待した。しかし現実には厳しく10月から12月にかけてクラブの合併、縮小等が発表され、Jリーグの危機といわれる状況が生まれてきた。プロ野球に比べスポーツビジネスとしてのJリーグはこのまま低迷をしてしまうのか、厳しい時期を迎えている。

Jリーグは理念として「地域に根ざし、サッカーを核としたスポーツクラブ活動を通じてスポーツ文化形成に貢献する」を掲げている。スローガンとして「スポーツでもっと幸せな国へ…Jリーグ百年構想」とうたっている。これまでプロスポーツの大先輩である野球が商業主義＝事業拡張・宣伝媒体的位置付けからスタートしたのに対し、Jリーグは地域のスポーツ文化発信拠点として、行政・市民・地元企業が一体となって作りあげること目標においた。熱心な地方行政がいち早く名乗りをあげ企業も追随した。スポーツを根づかせるために取られた数々の条件、たとえばナイター照明設置で固定席15,000人以上収容の天然芝グラウンドであるとか、6歳から18歳までの子供達を育成する施設、コーチングスタッフを下部機構にもつことなどが認可には必要となった。1993年に10チームでスタートし、現在はJリーグ1部、2部合わせて26のクラブがあるがどこも経営は厳しく、強いチームほど企業の持ち出しが多い。野球に比べてゲームがハードなため試合は月間6試合程度が限界である。野球は4倍も試合数が多い。それでもヨーロッパでは事業として成立しているのはTV放映権料が高く、広告収入も多いからである。

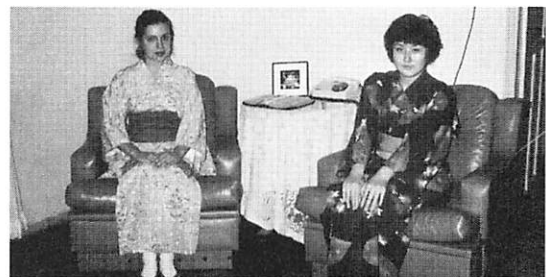
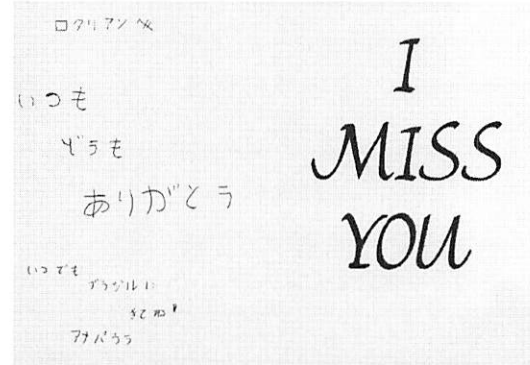
名古屋グランパスエイトは1993年Jリーグスタート当初からのクラブであるが、大都市型クラブとして苦戦中である。人口集中のメリットはあるものの、先輩プロスポーツとの競合、核となる地域のあいまいさ、鹿島、浦和、清水、磐田、札幌などのような行政・市

民一体となった地域の連携には程遠い感がある。

出資企業への依存度は高く、責任企業の負担は殊の外重い。野球と異なりワールドスポーツとして名古屋に根づかせるにはまだまだ時間と努力が必要となる。

2005年の万博開催年に当地を訪れる世界の人々に「この名古屋には強いフットボールクラブがある」との情報が行き渡るようにしたいものである。名古屋の皆様にあたたかいご声援と力強いサポート、グラウンドに足を運んでいただける情熱を切にお願いする次第です。

◎◎ 青少年交換学生アナ・パウラさんからの手紙紹介 ◎◎



日本からホームステイしている青少年交換学生と自宅にて

第135回ゴルフ会成績

		セントクリークCC 5/13 (木)				
RANK	NAME	OUT	IN	G	Hcp	NET
優勝	中井 常雄	42	47	89	11	78
2位	中山 信夫	44	40	84	8	76
3位	田部井良和	46	48	94	15	79
B B	林 哲央	47	42	89	6	83

(参加者 7名)
次回ハンディ変更 中井君8・中山君7

例会変更のお知らせ

- 名古屋東南RC 5/27(木) 530運動青空例会の為、大高緑地公園にて 11:00～
- 名古屋守山RC 5/27(木) 創立35周年記念式典の為、17:00～
- 名古屋港RC 5/28(金) 夜間例会の為、18:00～

◆次回例会(6月1日)
地区協議会報告